

# 明日香・聖徳通信

令和6年5月17日発行 校長 角田 哲典 第2号

## □「あすかじ」(小)・「あじみこし」(中)の推進

中学校では「語先後礼」のあいさつを推進しています。語先後礼とは、あいさつをする時は言葉(おはようございます)が先で、その後にお辞儀をするという意味です。確かに聖中生のあいさつは、立ち止まって挨拶をしてからお辞儀をするという態度が身につけているようです。

足を止め、相手の顔を見てあいさつをし、その後お辞儀をする姿はとても素敵です。しかも、その一連の動きはとても美しく、凛とした感じがします。

なぜ、そんなに心地よく感じるのか考えてみると思い当たるのが2つありました。1つ目は動作の美しさです。一つ一つの動きを大切にしているあいさつだからです。2つ目は、あいさつする短い時間ですが、その時間はしっかりと相手と向き合っていて気持ちを伝えようとしているからだと感じました。



小学校では校門のところに立ってあいさつをしていると、いろいろなあいさつが返ってきます。元気に「おはようございます」と言って校門を走り抜ける子、はにかみながら小さい声で「おはようございます」と会釈してくれる子、にこにこ笑いながら「おはようございます」と言う子。一人一人、本当に素敵なあいさつをしてくれます。

「ことば」だけでなく「気持ち」を伝えるあいさつ、そんなあいさつができればいいなと思います。

## □「考える力」の基盤となる「豊かな体験」

子どもの「考える力」の基盤を育てるためには、様々な体験を通して、子ども自身が「なぜだろう?」と感じる経験を重ねていくことが必要です。そのためには、文字や映像だけでなく実際にいろいろな「もの」に触れ、様々な失敗をして、思い通りにならないことをたくさん経験させる機会が必要だと思います。

今の時代、子どもたちに「豊かな経験」をさせることは、時間とお金がかかるイメージがありますが、決してそんなことはありません。例えば、親子で散歩に出かけたとき、い

つもと違う鮮やかな空の色に気づき「どうして今日はいつもより空の色は青いの?」と不思議に思う子がいるかも知れません。自分が知っている知識と自分の目の前の現実が違うとき、子どもたちの目は好奇心で輝き始めます。大人が心に余裕をもち、子どもたちの「なぜ?どうして?」と問いに向き合い、子どもの「不思議」や「疑問」に対して決して大人の「常識」で答えを出さずに、同じ目線で一緒に興味を持ちながら子どもたちを「自分で考える道」へと導くことで、自然と「考える力」の基盤を固めていきます。

これからの教育は「主体的に取り組む力」や「知識を使いこなす力」・「自分で考える力」を育てることが重視されます。これらの力は一朝一夕に身につくものではありません。学校でも家庭でも「豊かな体験」を通して子どもたちの中に積み上げていきたいと思っています。

## □小学校・中学校 校外学習(野外活動・修学旅行)

今月末から、小学校も中学校も宿泊を伴った校外学習があります。学校とは違い、時間と空間が開放的な場所で、新しい友達と触れ合うこと、新しい学級集団で楽しい活動をするので、1年間の活動意欲が湧きますし、学級・学年の連帯感・一体感が芽生えます。

		活 動	行き先	日 時
小	5年生	野外活動	曾爾青少年自然の家	5月19日(日)~5月20日(月)
中	1年生	校外学習	吉野山(吉野郡吉野町)	6月4日(火) 予備日7日(金)
	2年生	校外学習	京都市・大津市(琵琶湖)	5月29日(水)~5月30日(木)
	3年生	修学旅行	東京方面	5月29日(水)~5月31日(金)

※小学校1~4年生は明日香村近隣 6年生は談山神社方面 5月2日に実施済

## □授業参観・PTA 総会・懇談会

小学校では4月22日(月)、中学校では5月9日(木)に授業参観・懇談及びPTA 総会を実施いたしました。授業参観での子どもたちの頑張りはどうでしたでしょうか。たくさんのお家の人の前で張り切って授業に臨んでいる姿をご覧いただいたことと思います。PTA 総会でも多くの保護者の方にご参加いただきました。無事、総会では今年度の方針や活動計画が承認されました。

令和6年度本部役員紹介

	小 学 校	中 学 校
会 長	植 平 征 子さん	橋 本 広 宣さん
副会長	北 村 奈 々さん	松 本 彩 香さん
副会長	八 木 利 津子さん	飛 鳥 朝 子さん
庶務	山 本 沙 織さん	赤 井 貴 子さん
会計	辻 本 千 恵さん	津 本 舞さん